

教えて! 市立病院

【今月のドクター】

眼科 たかみや みちこ 高宮 美智子 医師
きむら りょう 木村 瞭 医師



糖尿病網膜症について皆さんに
知っていただきたいことを説明しま
す。糖尿病網膜症は失明や視力低下
の主な原因疾患（緑内障に続き第2
位）です。糖尿病の患者数は予備軍
を含め年々増加し、2016年の厚生
労働省の統計では、患者数・予備軍
ともに約1000万人いるとされて
います。糖尿病網膜症発症の危険因

〈第122回〉

糖尿病網膜症もうまくしょうについて知っていただきたいこと

■問合せ／市立病院総務課企画財務担当 ☎ 22-2450

子は、罹病期間で10年以上糖尿
病であると網膜症の発症リスクが4
倍に、血糖コントロールの指標であ
るHbA1Cが7%を超えると網膜
症の発症リスクが6倍程度に上昇す
るといわれています。

血糖コントロールが改善すると糖
尿病網膜症も治ると考えている人が
いますが、糖尿病網膜症は一時的に
軽快することはあっても完全に治る
ことはありません。

治療ですが、進行していない網膜
症は経過観察、進行した網膜症には
汎網膜光凝固術が適応となります。
これは、糖尿病網膜症の悪化を予防
するための治療です。予防であって

治す治療ではないため患者さんに誤
解されていることが多いです。また、
糖尿病網膜症により黄斑おうはんに浮腫ふしゅが出
現し、視力が落ちてしまうこともあり
ます。黄斑浮腫に対する治療は、ス
テロイドの硝子体内注射や抗VEGF
の硝子体注射が行われています。

大切なことは、自覚症状が変わら
なくても、定期的に眼科で診察を受
けて網膜症の悪化がないかを確認す
ることです。自覚症状が出た頃には
重篤な網膜症になっており視力改善
が見込めない人もいます。糖尿病、
あるいは高血糖と診断されたら、内
科、眼科に定期的に通院することが
とても重要です。